



特別展示

# 都市 アーケオロジー

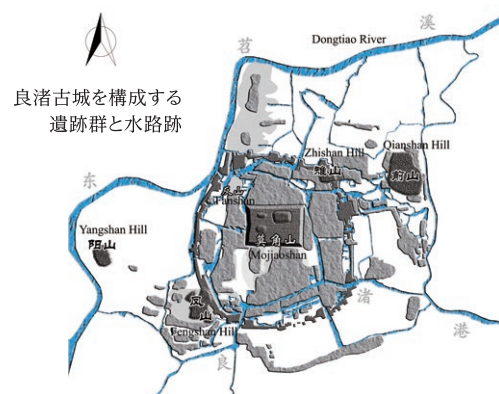
城都——考古学  
City——Archaeology

本展示は、遺跡から出土する遺物や遺構を  
てがかりに、考古学者がどのように過去の社会  
や人々の暮らしを復元するのか、その議論を  
紹介する「研究展示」である。本研究では、東  
アジア最古の都市とされる中国浙江省の良渚  
遺跡群を取り上げる。遺物や遺構の組み合わ  
せ、ときには人骨の化学分析によって得られ  
た情報によって、「都市」という空間のもつ特  
殊な性質や機能を明らかにすることを試みる。  
考古学者たちの頭の中を覗き込んだつもり  
で、展示を読み解いて欲しい。

鍾家港遺跡  
出土頭骨杯



反山遺跡から  
出土した玉琮



## 目次

要旨 本展示の趣旨

序論 資料と方法：良渚遺跡群の考古学的背景  
問題の所在「人骨が加工されたのは、ここが都市だったからか？」

本論 資料01 巨大ダムの証拠となった土囊  
資料02 井戸から示される人口集中と環境汚染  
資料03 玉器製作工房の社会的背景  
資料04 特異な加工人骨群と動物骨の加工痕  
資料05 玉琮の変遷と社会的背景  
資料06 刻画符合土器と文字の起源  
資料07 焼失した貯蔵庫と米の由来  
資料08 樊城堆文化の鼎と良渚文化の鬲  
資料09 雑穀を食べていた「異邦人」  
資料10 中国文明の成立と良渚文化の記憶

考察 都市の特質と文明の起源  
西アジア初期都市の共通性

補遺 (映像資料) 玉器再現実験、現代の玉器工房など  
(分析装置) 加速器分析装置、安定同位体比質量分析装置

東京大学総合研究博物館  
本館企画展示室

入場無料

東京都文京区本郷7-3-1  
開館時間・休館日・関連イベントはホームページをご覧ください

主催：東京大学総合研究博物館  
共催：文部科学省科学研究費助成事業 学術変革領域研究(A)  
「中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ」  
展示協力：浙江省文物考古研究所、鳥取大学医学部  
企画：米田 稷(東京大学)  
監修：中村 慎一(金沢大学)



東京大学総合研究博物館  
The University Museum, The University of Tokyo